

令和 元年 美 郷 町 議 会 議 事 録

第5回 臨時会 (第1号)

招集年月日	令和 元年 10月 7日					
招集の場所	美 郷 町 役 場 議 会 議 場					
開会日時 及び宣告	開 会	令和 元年 10月 7日 午前 9時 30分				
		議 長 佐 竹 一 夫				
	閉 会	令和 元年 10月 7日 午前 10時10分				
		議 長 佐 竹 一 夫				
応招、不応 招議員及び 出席並びに 欠席議員 出席12名 欠席 0名 凡例 ○ 出 席 △ 欠 席 × 不応招 ○△公務欠	議 席 番 号	氏 名	出席等 の 別	議 席 番 号	氏 名	出席等 の 別
	議 長 (11)	佐 竹 一 夫	○	6	藤 原 修 治	○
	副議長 (5)	福 島 教 次 郎	○	7	岩 根 和 博	○
	1	日 高 学	○	8	山 本 幹 雄	○
	2	中 原 保 彦	○	9	安 田 勝 司	○
	3	波 多 野 康 博	○	10	籾 根 正 一	○
4	原 克 美	○	12	西 嶋 二 郎	○	

会議録署名員	12番	西嶋二郎	1番	日高学
地方自治法第121条により説明のため出席した者の職・氏名	職名	氏名	職名	氏名
	町長	嘉戸隆		
	副町長	岸本建夫		
	教育長	田邊哲也		
	総務課長	木川士朗		
	企画推進課長	石田圭司		
	会計課長	井上陽生		
職務により議会に出席した者の職・氏名	議会事務局長 漆谷和彦 議会事務局員 大畑真紀			
議事日程	別紙のとおり			
会議に付した事件	別紙のとおり			
会議の経過	別紙のとおり			

令和元年美郷町議会第5回臨時会議事日程

(第1号)

令和元年10月7日(月)午前9時30分開会

日程	事 件
1	会議録署名議員の指名
2	会期の決定
3	議案の上程、説明、質疑、討論及び表決 【予算案】 議案第65号 令和元年度美郷町一般会計補正予算(第3号)

●佐竹議長

おはようございます。

全議員出席であります。

ただ今から令和元年美郷町議会第5回臨時会を開会いたします。

ただちに本日の会議を開きます。

本日の会議日程は、予めお手元に配布してあるとおりであります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、美郷町議会会議規則第過127条の規定により12番・西嶋議員、1番・日高議員を指名いたします。

日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日限りとしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

●佐竹議長

異議なしと認め、本臨時会の会期は、本日1日限りとすることに決しました。

日程第3、議案の上程、説明、質疑、討論及び表決を議題といたします。

本臨時会に提案をしております議案は予算案1件であり、議案第65号を上程します。

それでは議案第65号の提案理由の説明を求めます。

●佐竹議長

番外、会計課長。

●井上会計課長

上程いただきました議案第65号、令和元年度美郷町一般会計補正予算第3号について、ご説明を申し上げます。補正第3号は、潮温泉新大和荘の建設工事費用に係るものです。建設費用は、令和元年度に当初予算でご承認をいただき、これまで発注準備を進めておりました。令和元年の建築に係る労務単価の改定及び資材単価の変動を生じたことにより、適切な建設費用の見直しをこのたび講じておりませんでした。このことから、増額した費用に対して、予算の補正をご審議いただくものです。歳入歳出予算の補正は、歳入歳出それぞれ9500万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ85億2914万8000円となります。まず、歳出の明細内訳についてご説明します。事項別明細書7ページをお願いします。款2総務費、項1総務管理費、目6企画費、工事請負費9513万7000円です。内容につきましては、先ほどご説明をしたとおりでございます。下段の予備費については、歳入の不足から、歳入の不足分13万7000円を本補正で組み替えるものです。続いて、歳入の補正の説明を申し上げます。戻っていただき、6ページをお願いします。款18繰入金、項2基金繰入金、目1財政調整基金繰入金です。金額は9500万です。本事業は、合併特例債の上限額の活用と残りは過疎対策事業債で賄っております。過疎対策事業債については、現時点での増額見込みを立てることが困難であることから、本補正予算については、

財政調整基金を取り崩して、充当することとします。新大和荘建設計画は過疎事業債における雇用の創出に係る地方創設特別分として位置づけられており、優先度の高い事業です。一般財源の抑制のため、今後、過疎対策事業債の第2次の要望の取りまとめについて充当できるよう努力をしております。以上で議案第65号について説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

●佐竹議長

提案理由の説明が終わりました。これより質疑に入ります。

議案第65号について質疑を許します。

●佐竹議長

番外、町長。

●嘉戸町長

皆さん、おはようございます。今回の補正につきましては、新大和荘の事業、工事費用に関わるものです。先立ちまして、私の方から少し補足をさせていただきます。新大和荘の建設工事につきましては、工事費用を当初予算に計上し、発注準備を進めておりました。新年度に入りまして、労務単価の改定や資材単価の上昇等による費用の上振れがございましたが、相当分の工事費用への反映見直しをしておりませんでした。発注日前に、設計価格を再点検したところ、これらの事実が分かり、予算が不足することが分かりました。以上のことから、予算の不足額9513万7000円を補正させていただきたく存じます。今後は、再点検などの対策を十分講じ、一層の注意を払って再発防止に取り組んでまいりたいと思います。大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。何とぞご審議のほど、よろしくお願いいたします。

●佐竹議長

提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。議案第65号について、質疑を許します。

質疑はありませんか。

●佐竹議長

2番、中原議員。

●中原議員

2番です。今、町長からご説明ありました労務単価の見直し、それから資材単価の見直し、こういうことに伴って9500万の補正をしたいということだったんですが、労務単価それから資材単価の見直しをせざるを得なくなったというのは、町内の制度上の問題なのかどうかですね、どう改善すればいいのか、そこら辺お考えがありましたら。

●佐竹議長

番外、企画推進課長。

●石田企画推進課長

ご質問いただきました。今回の補正のところでございますけども、実際に発注前に当たっ

てですね、そういった再点検というものを必ずするということができていなかったということが、今回の最大の原因でございます。労務単価等はですね、定期的にそれから資材単価等も定期的に変っていくという現状がございます。これにつきましては、常にそういった情報を今後把握をしていきですね、適正な予定価格となるように、しっかりと努めてまいりたいというふうに考えております。

●佐竹議長

2番。

●中原議員

そうしますと、こういう工事なんか発注していくに当たっての段取り上ですね、仕組みと申しますか、どの時期でどういう見直しをするのかとか、そういう庁内での、この種の問題の見直しの制度とまではいかないんでしょうけども、仕組みたいなものに、やっぱり改善の余地があるというふうに理解したんですが、それでいいのかどうかということとですね、それから、これに財政調整基金が使われるということなんですが、私は去年の9月の定例会の時にも質問をし、答弁もいただいているんですが、基金をですね、積極的に使っていくということは、これは私は大事なことだというふうに思っているんですけども、この基金は、もちろん職員の皆さんも色々削るところを削って苦勞されてきたと。町民のみなさんも我慢して積立てきたと。そういう基金ですから、使うに当たっては、やっぱり町民の合意なり、理解なり、こういうことが特に大事になってくるというふうに意見を申し上げて、そのことについては留意するというふうに答弁もいただいているんですけども、こういう財政調整基金だから、そういうことに使うと言われるとそれまでなんですけども、やっぱり、急遽足りなくなったから使うということではなくて、こうこうこういう理由が生じて、このために、これまで我慢いただいて貯めたものを使わせてもらうんだという説明が必要だと思っておりますので、その点はどのように考えておられますか。

●佐竹議長

企画推進課長。

●石田企画推進課長

先ほどの1点目の方でございます。そういった仕組みということでございますが、今回例えばそういうふうな建設部門等の発注する課とのですね、横の連携などもとっていきたいというふうに考えております。また、課内でもですね、複数の職員によるチェック体制、それから発注の担当課である総務課とも連携をしっかりと取ってですね、今後こういったことが、2度と起こらないように努めてまいり、そういった仕組みをきちんと作ってまいりたいというふうに考えております。それからもう1点でございます。予算的なお話でございました。財政調整基金を今回充てさしていただいて、実施をするということでございます。これにつきましては、しっかりと住民の皆様にもですね、新しい大和荘自体も、これは本当に皆様から期待をいただいているという声もしっかりといただいておりますので、町民の皆様に対して、しっかりとこの財政調整基金は使わせていただくという理由をですね、折に触

れて、例えば今後予定をしておりますけども、11月以降のところ、町政懇談会といったものもございます。そういった直接住民の皆様と顔は合わさせていただいて、そういった形のを設けてですね、説明の方をしっかりとしていきたいというふうに考えております。また、財政調整基金を今回充てておりますけども、出来るだけもっと有利な財源などもですね、今後確保していきたいというふうに考えています。ご理解のほど、よろしくいたします。

●佐竹議長

他に質疑はございませんか。

●佐竹議長

山本議員。

●山本議員

突然、補正で上がってきたんで、9500万という額なんですけど、本来は、これ4月移行に発注するということになると、新年度単価ということになりますんで、当然、6月か9月の定例会で上がったものだと理解していいんでしょうか。どうですか。

●佐竹議長

副町長。

●岸本副町長

山本議員おっしゃるとおりでございます、その時点で、6月なり9月なりの補正できちんと議会の皆さま方にご承認をいただくというのが本来でございます。今回はそういうことではなく、臨時会ということになりましたけども、今後、こういうことがないようにですね、しっかり精査をしながら、予算管理にも努めてまいりたいと思っております。

●佐竹議長

他に質疑はありませんか。

●佐竹議長

4番、原議員。

●原議員

この事業の流れとしてですね、今回こうやって9500万の補正が出たということは、ある意味当初予算を賛成した立場としてはですね、仕方ない部分もあるのかなというところもございますが、ただですね、先般の議会でも補正でですね、空の駅構想で、一般財源としては2億長のものでお出の訳です。今回9500万。3億以上のものが補正で立て続けに出てきてお出の訳でございますけれども、こういった意味で会計課として、今後の町の財政運営上ですね、どのように考えておられるかということ、ちょっとお聞きしたいんですけれども。

●佐竹議長

番外、会計課長。

●井上会計課長

この度の原議員おっしゃいました予算の増額の部分、これにつきましては、来年度以降の

ですね、予算の組立、中期財政計画等にですね、しっかりと反映していかなければいけないと思います。事業、長期総合計画、総合戦略、こうした各種計画等もですね、しっかりと整合性を持たせて、分かりやすく明確な形でですね、財政の運営をしていきたいというふうに考えております。以上です。

●佐竹議長

番外、町長。

●嘉戸町長

今の原議員のご質問、ごもっともだと思います。本来であれば、3月の当初予算の段階で年度計画をしっかり立て、その枠内でやるということが本来だというふうに承知しております。今年度に関しましては、私の初めての通年度ということもございましてですね、十分3月に反映できなかった部分もあるかとは思いますが、来年度予算の策定に向けまして、今庁舎内では、次年度に向けた各課の予算案の策定を着手さしております。その中では、特に事業課のところですね、企画、産業振興課、美郷暮らし推進課、山くじらブランド推進課につきましては、事業計画のところは策定にあたって、私も最初から入って検討するというふうに課長に通達しております。それは、年度中に、年度が始まってから突然ポンと出てくるとかですね、あるいは年度当初に、本来これが必要な事業かというような精査が十分でないまま予算化してしまうというようなことを防ぎたいというふうなことでですね、予算策定の段階で、しっかり今年度詰めてまいりたいというふうに思っております。ただし、世の中色々動いておりますので、全く補正がないというようなところまでいくのが理想ではございますけれども、そこはしっかり判断をさしていただきまして、議会にお諮りにする部分は、またお願いしたいと思いますが、基本としましては、しっかりした年度予算を立てていくということで肝に銘じたいと思いますので、ご理解をいただければと思います。

●佐竹議長

他にありませんか。

(なしの声)

●佐竹議長

ないようですので、質疑を終わります。

次に、議案第65号に対する討論に入ります。

討論ありませんか。

(なしの声)

●佐竹議長

討論なしと認めます。

お諮りします。

議案第65号については、原案のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

(挙手多数)

●佐竹議長

挙手多数でございます。

よって議案第60号については、原案のとおり決することに可決されました。

以上で執行部から付議されました案件はすべて議了いたしました。

これをもちまして、本日の会議を閉じるとともに令和元年美郷町議会第5回臨時会の閉会をいたします。

ご苦労様でした。

(閉 会 午 前 10時 10分)